

第62回人権週間

みんなが築く人権の世紀

「考えよう相手の気持ち 育てよう思いやりの心」

人間は、だれでも「幸福な生活を送る権利」を持っています。これが人権といわれるもので、人間が人間らしく生きるためになくてはならない権利です。

法務省と全国人権擁護委員連合会は、この大切な権利を守るために努力していますが、特に、毎年12月4日から10日までの1週間を「人権週間」として、人権尊重の理念に関する国民相互の理解を深めるため、市町村や関係機関の協力を得て、全国で講演会・座談会・映画会・特設人権相談所(または法務総合相談所)の開設など、各種の行事を行っています。

また、人権週間には、その時々重要な人権問題を強調事項として取り上げ、解決に努めてきました。62回目に当

たる今年の強調事項は、次のとおりです。

みんなが築く人権の世紀

「考えよう相手の気持ち

育てよう思いやりの心」

女性の権利を守ろう
子どもの権利を守ろう
高齢者を大切にすることを育てよう

障害のある人の完全参加と平等を実現しよう
部落差別をなくしよう

アイヌの人々に対する理解を深めよう
外国人の人権を尊重しよう

HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくしよう

刑を終えて出所した人に対する偏見をなくしよう
犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう

インターネットを悪用した人権侵害はやめよう
ホームレスに対する偏見をなくしよう

性的指向を理由とする差別をなくしよう
性同一性障害を理由とする差別をなくしよう

北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう

人身取引をなくしよう

あなたの人権は守られていますか。他人の人権を侵していませんか。この機会に、人権についてもう一度考えてみてください。

みなさんが、これは人権問題ではないだろうかと感じること、困りごとや心配ごと、また、子どものいじめ問題での悩みごとなどがありました

ら、千葉地方法務局佐倉支局(☎043-484-1122)や市の人権擁護委員へ遠慮なくご相談ください。
相談は無料で、秘密は固く

荒木充氏と林悦夫氏が新たに人権擁護委員に

新たに人権擁護委員に

去る10月1日、任期満了による前任者の後任の人権擁護委員として、法務大臣から荒木充氏(岩戸)・林悦夫氏(萩原)の2人が新たに委嘱されました。また、同じく任期満了となった渡邊傑氏についても同日付けで委嘱(再任)されました。

人権擁護委員は、地域の中で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護するためみなさんからの相談に応じています。

- 荒木充(岩戸)
- 林悦夫(萩原)
- 渡邊傑(滝野)
- 服部恵美子(行徳)
- 西村信(松崎)
- 遠藤和夫(大森)
- 佐藤文夫(内野)
- 今村朱實(結縁寺)
- 上條真由美(大森)
- 丸市民課戸籍班

印西市環境白書平成22年度版を発行

市では、平成16年度から「印西市環境白書」を作成し、

公表しています。「印西市環境白書 平成22年度版」は、「印西市環境基本計画」に掲げた市民・事業者・市の取り組みの平成21年度における進捗状況および

この環境白書は、10月に発行し、市内各図書館に設置およびホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。環境保全課環境保全班(☎内線365)。

広報いんざい市長室

山崎山洋



平成22年度合併記念いんざい産業まつりを、去る11月6日、ビックホップガーデンモール印西の駐車場で開催しました。当日は好天に恵まれたおかげで、約30,000人が会場にいらしてくださいました。

産業まつりは、市内で生産されている農畜産物、商工業製品などを広く紹介すると共に、生産者・販売者と消費者との交流の場として、また、消費者と生産者とが顔の見える販売などを通じ、食の安心、安全を図り、印西の農産物は印西で消費するという「地産地消」の推進を図ることを目的として毎年開催しています。今年、合併後初めての産業まつりということで、参加団体も昨年より9団体増え、37団体となりました。中でも、農産物を販売する団体テント前には途切れることなく人が並び、新鮮な野菜などが飛びように売れて、購入した人にたいへん喜ばれていました。

このような例を言うまでもなく、消費者のみなさんが望んでいる農産物は、新鮮で安心安全なものです。幸い印西市は3方を利根川、手賀沼、印旛沼に囲まれ緑豊かな自然環境を生かし、コシヒカリなどの水稲、スイカ、メロン、ナシ、クリなどの多彩な農産物を生産し、消費者のニーズに応えた物を提供しています。

地産地消は、消費者にとって生産者の顔が見え、新鮮で栄養価が高く、安全安心な農産物が供給される一方、生産者にとっては、流通コストの低減や、市の農業の特徴である多品目少量生産でも対応できるなどの長所があります。地産地消の仕組みを確立することは、市内の農業を活性化するためにも必要であり、その確立によって農業地域と千葉ニュータウンとの関係強化が期待されます。

今後、印西の農産物のおいしさや信頼性が評価され、全国的に名の通るブランド力を持つものになりたいと考えています。

シリーズ・心の道標⑩ 不安障害とは

不安障害とは

☎内線268

特に困った事が起こっているわけではないのに、自分が病気にかかっているのでは、事件・事故に巻き込まれるのではないかと、仕事や勉強で失敗するのではないかなど、根拠のない強い不安が6カ月以上継続する病気です。

このような状態が続くと、心の休まる暇がなく、思考力や集中力が低下し、家事や仕事に手がつかなくなり、イライラして夜も眠れなくなることもあります。

原因については解明されていませんが、もともと神経質な性格の上に、何らかのストレスが重なり、それにうまく対応できないことに発症しやすいといわれています(必ずしも当てはまらないこともあります)。

治療は、認知行動療法と薬物療法です。また、現実適切に対応できるように、指示的精神療法がおこなわれることもあります。

本人の話に真剣に耳を傾け、「大丈夫だよ」と安心させてあげる事が大切です。

社会福祉課障害福祉班では、保健師・精神保健福祉士が相談に応じます。

百歳を迎える12人にお祝い

去る10月、本年度百歳を迎えるみなさんを、山崎山洋市長が訪問しました。



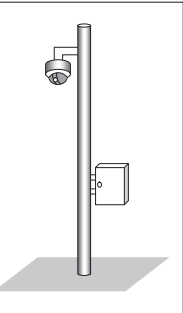
みなさんの長寿を祝い、多年にわたり社会の発展に寄与していただいたことに感謝し、内閣総理大臣から祝い状と記念品が、また市長から祝い金が贈呈されました。

なお、10月末現在、市内の百歳以上の人は17人です。☎内線271。

駅前広場などに街頭防犯カメラを設置

市では、犯罪に強いまちを構築し、犯罪被害を未然に防止する目的で駅前広場などに街頭防犯カメラを設置するための工事を行います。

- 工期：平成23年2月末まで。
- 工事(設置)場所：千葉二



街頭防犯カメラはこのように設置される予定です

設置後、「印西市防犯カメラの設置並びに管理及び運用に関する要綱」に基づき管理と運用を行います。みなさんのご理解ご協力をお願いします。☎市民安全課市民安全班(☎内線713)。



環境に配慮した行動をするための参考に